

人材像・職種の社会的認知向上への道筋

言語化

要点

何をする仕事か？必要なスキルは？
今までと何が違う？レベル感は？誰？

手段

ドキュメント配布、セミナーでの周知

公式感

デタマネ的には
おおよそ

済

大企業や国の動きなのか？
一過性の話ではないのか？

産官学連携の集会、発信
国家戦略としてのアピール

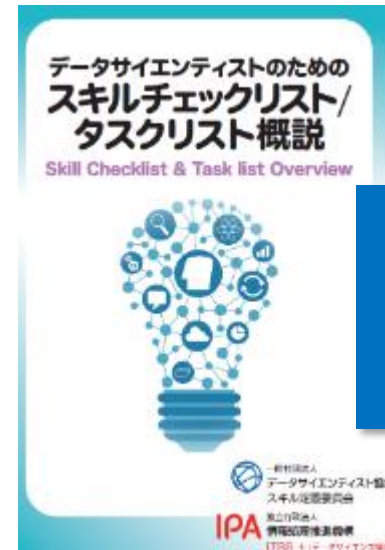
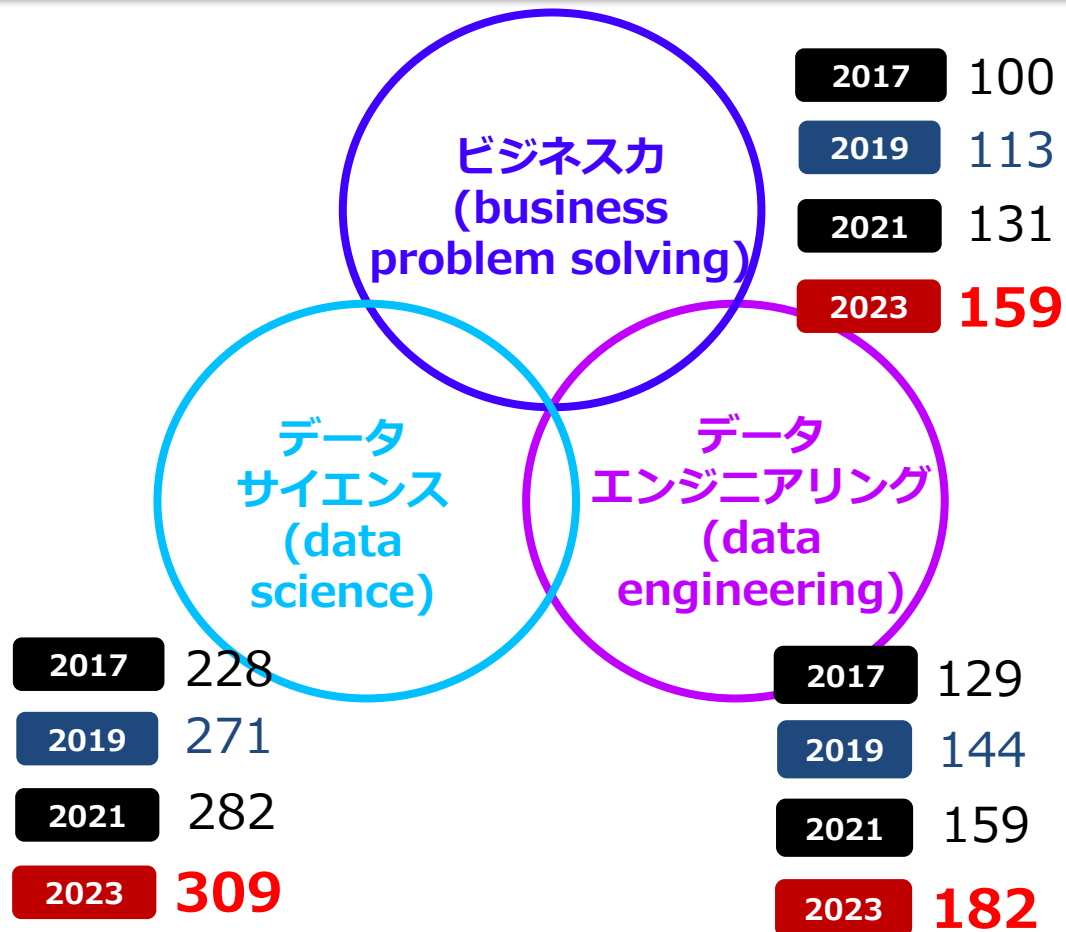
若者への リーチ

キラキラ感、目指したくなるかどうか

若手の語りべ露出、SNS活用

言語化：データサイエンティストの定義や普及

650項目から構成されるデータサイエンティストに必要なスキルセットを定義



＜概説書＞
使い方を記した概説書を
IPAと共同でリリース

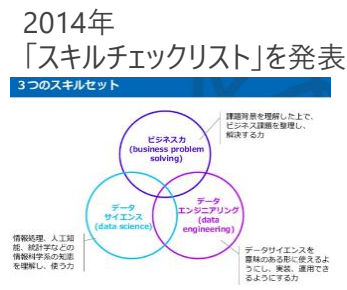


＜100本ノック（データ加工編）＞
データと実問題、実行環境スクリプト
を準備。GitHub上に公開

DS協会シンポジウム過去発表資料から抜粋

公式感：DS協会と日本のAI/データサイエンス教育、育成取り組みの変遷

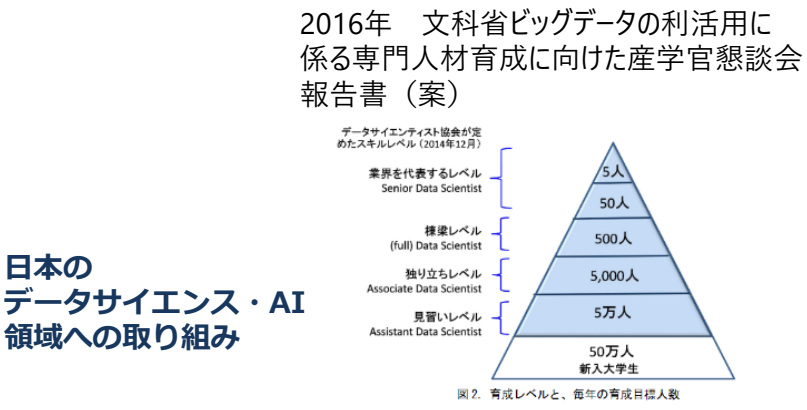
DS協会
2013年発足
法人：130社超
個人会員：約2万人



2016年 IPAとの協働
情報処理推進機構
IT人材に求められるスキル標準
ITSS + に「スキルチェックリスト」
「タスクリスト」が採用される



2021年～2024年
経産省・IPA
「デジタル時代の人材政策に関する検討会」
「デジタルスキル標準検討会」への参画



日本のデータサイエンス・AI領域への取り組み

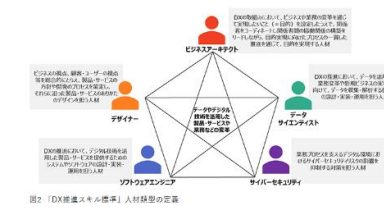
2019年 内閣府AI戦略2019

教育改革に向けた主な取り組み

分野	取り組み
小中高	AI活用授業の実施、AI活用教材の開発、AI活用教育プログラムの開発
大学	AI活用授業の実施、AI活用教材の開発、AI活用教育プログラムの開発
社会人	AI活用授業の実施、AI活用教材の開発、AI活用教育プログラムの開発

2020年 数理・データサイエンス・AI モデルカリキュラム

分野	内容	実施校
数	1. 内容・教材のデータ・AI活用事例 (1) 数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・確率 (2) 数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・確率 (3) 数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・確率	1. 大分県立大分高等学校 2. 大分県立大分高等学校 3. 大分県立大分高等学校
理	2. データリテラシー (1) データリテラシー (2) データリテラシー	1. 大分県立大分高等学校
学	3. データ・データ活用に関する基礎知識 (1) データ・データ活用に関する基礎知識 (2) データ・データ活用に関する基礎知識	1. 大分県立大分高等学校
計	4. オプション (1) データ・データ活用に関する基礎知識 (2) データ・データ活用に関する基礎知識 (3) データ・データ活用に関する基礎知識	1. 大分県立大分高等学校 2. 大分県立大分高等学校 3. 大分県立大分高等学校



2019年 経団連AI活用戦略2019

AI-Readyな個人

レベル	特徴
●トップ人材（研究系）	最先端技術の研究開発、高度な技術力、国際的な視野
●中級人材（技術系）	高度な技術力、高度な技術力、国際的な視野
●リテラシー（利用系）	高度な技術力、高度な技術力、国際的な視野

2019年 経産省AIQuest PBL実証実験



大学での相次ぐDS学部新設

データサイエンスなどを学べる情報系学部・学科を新設した主な大学

年度	大学
平成29年度	滋賀大(滋賀)、東洋大(東京)
30年度	横浜市立大(神奈川)、広島大(広島)
31/令和元年度	兵庫県立大(兵庫)、中央大(東京)、武蔵野大(東京)
2年度	福知山公立大(京都)、長崎大(長崎)
3年度	立正大(東京)、南山大(愛知)
4年度(予定)	名城大(愛知)、岡山理科大(岡山)、近畿大(大阪)

※河合塾の資料を基に作成

公式感：デジタルリテラシー協議会 Di-Lite



2021年4月に3団体＋経産省（オブザーブ）を中心に発足。「日本のデジタル人材育成を加速させる」ための官民連携の会議体。220社が賛同し、産業界全体での取り組み加速を目指す。



DataScientist Society

IPA

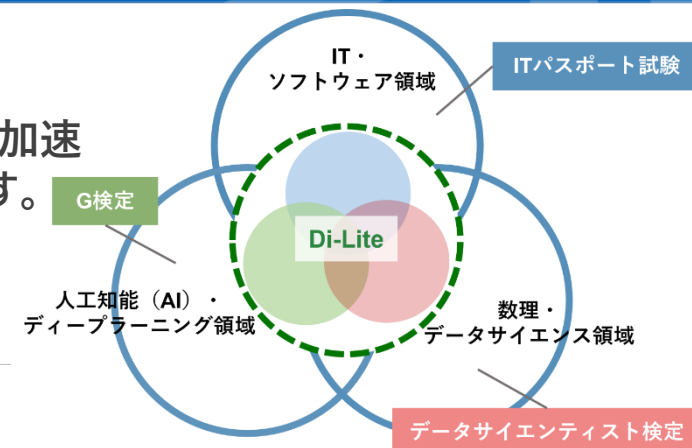
Information Technology
Promotion
Agency, Japan



Japan
Deep Learning
Association



経済産業省



協議会委員



高橋 隆史

データサイエンティスト協会
代表理事



齊藤 裕

独立行政法人
情報処理推進機構
理事長



西山 圭太

東京大学未来ビジョン
研究センター 客員教授
日本ディープラーニング協会
特別顧問



松尾 豊

東京大学大学院
工学系研究科 教授
日本ディープラーニング協会
理事長

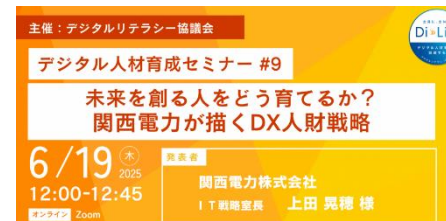
DX推進パスポートを定義

3 試験の合格数に応じ、デジタルバッジを発行
2025年4月時点で延べ1万人の申請数を記録



デジタル人材育成事例の共有

HPや講演、セミナー形式で各企業、団体でのデジタル人材育成事例の共有や発信



若者へのリーチ：各大学や高校へのセミナー、若手データサイエンティストの露出

中央大学のみなさまへ

DSS学生部
Deep Dive Session

若手データサイエンティストが語るリアルなお仕事 ～あなたの3年後の新たな飛躍へ～

企業の中でデータ解析や課題解決に取り組むデータサイエンティスト達。彼ら彼女らは日々どんなワーク&ライフを過ごしているのか？様々な領域で活躍する若手DSに日々の実務の実態や仕事観、キャリアへの考え方など、気になることを掘り下げてセッションしましょう

開催日時	申し込みURL
2022年6月13日(月) 17時00分～18時40分	 申し込みURL: https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScybaYxaropChicTnJL6L2NtQD8aR0v-Z0v8tB8dPC0Gow/viewform

企業参加メンバー

2016年、電通入社。電通入社後、メディアプランニング業務、広告の効果測定、DMP導入を担当。社内のR&Dプロジェクトを立ち上げ、産学連携も推進。

大学での専攻は「広告・出版」で文系学部出身。2017年に株式会社分析屋に新卒入社後、現在はWEB関連データを扱うアナリスト(WEB解析士)として主に営業活動の支援を行っている。

大学院でバイオエンジニアリングを学ぶ傍ら、画像AI技術の開発/実用化を経験。2020年にユニコムヘルスデータサイエンティストとして新卒入社。現在は社内事業部の新規サービス創出支援や営業データの活用支援を行っている。

学部でファイナンス、修士で機械学習を研究し、2020年に日産自動車に新卒入社。入社から一貫して、技術開発の現場で発生する様々なデータを統計解析・機械学習を使って分析し、効率化、自動化、現象の解釈など行う。

・当日は途中参加、途中退出OK
・録画はしません。写真禁止

一般社団法人データサイエンティスト協会

共催セミナー

D-DRIVE
データ関連人材育成プログラム

一般社団法人データサイエンティスト協会

D-DRIVE データサイエンスセミナー

D-DRIVE全国ネットワークは、一般社団法人データサイエンティスト協会と共催で、データ関連人材育成事業の一環として、「データサイエンスセミナー」を開催いたします。
企業でのデータサイエンスやデータサイエンティストの実態、ビジネス課題や手法を紹介し、高度データ関連人材の専門分野でのデータサイエンス活用、あるいは、キャリアパスの検討機会を提供いたします。
是非、この機会にご参加ください。

開催日時	2022年3月9日(水) 13:30～15:30
開催形式	WEB開催 定員：300名 参加無料
開催内容	●開会式 ●企業プレゼンテーション ●パネルディスカッション ●質疑応答 ●閉会式
申込先/Form	https://forms.gle/Rsw5uYyTJdvxwLJn9

企業講演者

1995年に日立製作所へ入社し、以来23年間、研究所において画像認識化を応用し製造のダイヤや軌道の最適制御などを作る制御最適化モデルの研究開発に従事。その経験を活かし、データサイエンスの専門職としてAIを活用したソリューションビジネスを担い、大学での講義や若手社員育成にも力を入れている。博士(工学)、電気学会上級会員、日本オペレーションズリサーチ学会員、関西大学論文賞、機械工学学会論文賞。

製造、官公庁を中心に、テキスト分析、データ分析業務に携わる。一方で、AI画像やAIファッショ生成のような新しいAI活用テーマにも挑戦している。

大手SIerで宇宙開発関連事業に従事後、ユニコムヘルスにてショッパー行動解析サービス「Go Insight」の開発・開発を担当。学術とビジネスの橋渡しをテーマに、時にはプロジェクトマネージャー、時にはデータサイエンティスト、時にはエンジニアという多岐にわたる役割を担い、消費財メーカーのDX化を支援。大学時代の専攻は宇宙物理学。

主催 大阪大学 数理・データ科学研究センター
D-DRIVE全国ネットワーク <https://ddrive.jp/>

共催 一般社団法人データサイエンティスト協会
<https://www.datascientist.or.jp/>

開会先 MMDS 大阪大学数理・データ科学研究センター
D-DRIVE事務局 mmds-ddrive@sigmath.es.osaka-u.ac.jp

滋賀大学データサイエンス学部のみなさまへ

DSS学生部
Deep Dive Session

企業ではたらく 若手DSが語るセミナー

企業の中でデータ解析や課題解決に取り組むデータサイエンティスト達。彼ら彼女らは日々どんなワーク&ライフを過ごしているのか？様々な企業で活躍する若手DSに日々の実務の実態や仕事観、キャリアへの考え方など、気になることを掘り下げてセッションしましょう

開催日時	オンラインURL
2022年1月14日(金) 13時～14時30分	セミナーURL: https://us02web.zoom.us/j/83182436564?pwd=VHl4Sm9aN3VZd0d3amE3S0lpVFUQQT09

企業参加メンバー

情報学専攻修士卒業後、ネットリサーチ会社でデータ分析やデータビジネス立ち上げに参画。2016年NRIへ、コンサルタントとしてマーケティングサイエンスやコミュニケーション戦略立案に取り組む

2017年にオムロン株式会社に入社。入社後、生産設備のデータを用いた設備異常を検知するアプリケーションや解析ツールの開発を担当。現在はPLCのIoT化に関する技術開発・商品開発に従事

大学時代は材料工学を学ぶ。入社後はコピー機のハードウェア開発に従事するも、DSの将来性を感じデータサイエンティストへ転身する。生産工場や営業のDSプロジェクトやリテール向けの新規サービス創出を手掛ける

2019年5月に新設したみなとみらいリサーチセンターを拠点に、AI・データサイエンスについて学びながら、自社工場の生産性及び品質向上に向けた業務に従事。現在は設備の予知保全に関する研究に取り組む

・当日は途中参加、途中退出OK
・録画はしません。写真禁止

一般社団法人データサイエンティスト協会

若者へのリーチ：学生委員会の発足

従来から有志で進めていた学生部の活動を2024年に委員会として正式に発足。中高生へのDS体験学習やPBLの提供、大学ではデータサイエンス実務についてのセミナーや講義を進めている

高校課

- ・教員向け情報Ⅱ教材の作成と講演活動
- ・中高生への体験型セミナーの実施

大学課

- ・年間6回～9回の大学連携セミナーの実施
- ・社会実践型講義のシラバス策定や企業誘致
- ・オープンキャンパスでのセミナー参加

拡大した学生委員会メンバー

- ・20名前後の社会人メンバーで構成し、パネリストや講師として登壇する人も多い
- ・学生と先生、社会人が自由に参加可能なDSコミュニティを発足させる予定

データサイエンティストのおしごととステップ① 解くべき課題の定義

立場 コンビニの会社のデータサイエンティスト

仕事 どこにコンビニを作るといいか決める仕事

状況 3つの候補地まで絞り込めたけれど、ここから1か所に決めなくてはならない



最前線のデータサイエンティストが語るリアルなお仕事(2024) ~社会を変えるのは君たちだ~

企業の中でデータ解析や課題解決に取り組むデータサイエンティスト。彼ら彼女らは日々どんなワークスタイルを過ごしているのか？様々な領域で活躍する若手DSに日々の業務の実態や仕事観、キャリアへの考えなど、気になることを掘り下げてセッションしよう。

開催日時・場所
2024/6/24(月) 17:00~18:40
中央大学
後援園キャンパス3号館14階セミナー室
オンライン(WebEx)

申し込み
<https://forms.gle/gASRs1JAImpxyBfuZ>
QRコード

中央大学・法政大学・関西大学のみさまへ

DSS学生部
Data Science Student

D-DRIVE データサイエンスセミナー

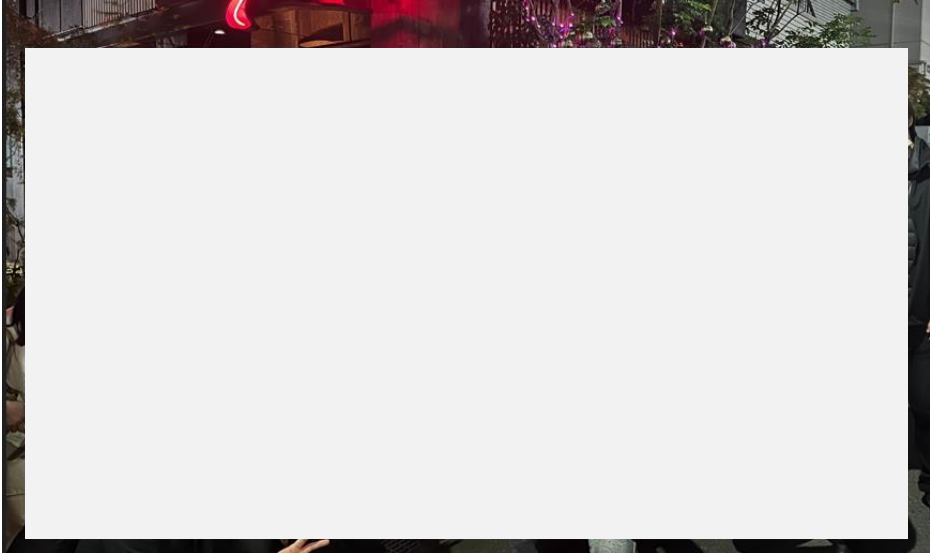
2024年2月27日(火) 14:00-16:00 Web開催

文部科学省「データ駆動型人材育成プログラム (D-DRIVE)」主催。一般社団法人データサイエンティスト協会と共同でデータ駆動型人材育成の一環として「データサイエンスセミナー」を開催いたします。企業でのデータサイエンス実務、あるいは、キャリアパスの検討機会を提供いたします。無料、この機会にご参加ください。

開催内容
・開会式
・パネルディスカッション
・企業プレゼンテーション
・D-DRIVE全国ネットワーク代表機関、各コンソーシアム参加大学所属学生、全国の数値・データサイエンス・人間関係学専攻生、HARAM会員等
申込先 https://zoom.us/join/registrant?Wt_CoqI=>A8Q2_CQq0R3mDqMg
申込方法はQRコードより(2/26・12:00開場)

企業講演者

主催：D-DRIVE全国ネットワーク <https://drive.jp/>
共催：一般社団法人データサイエンティスト協会 <https://www.data scientist.or.jp/>
問合せ先：大阪大学数値・データ科学教育研究センター
D-DRIVE事務局 mmds-duendrive@signmaths.osaka-u.ac.jp



シンポジウムの実際の風景

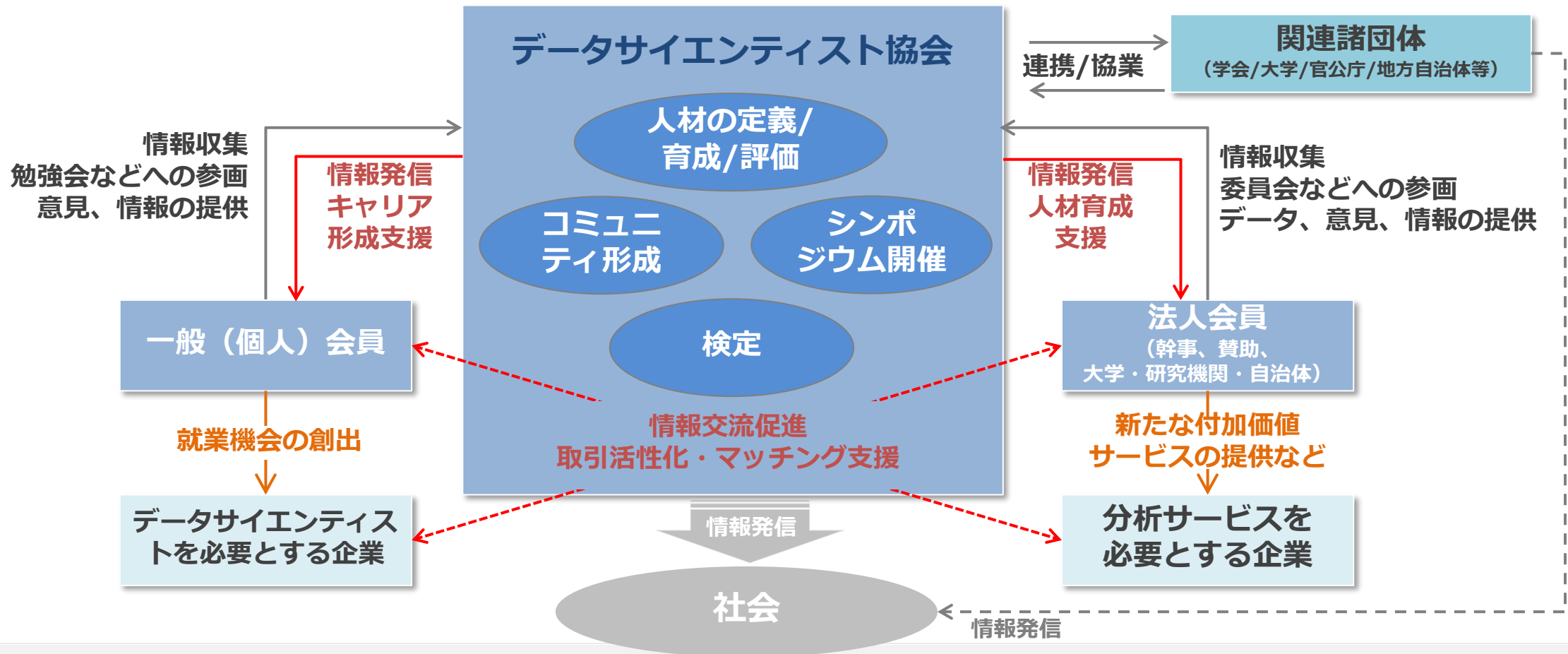


データサイエンティスト協会とは

団体名称	和文：一般社団法人 データサイエンティスト協会 英文：The Japan DataScientist Society URL： http://www.datascientist.or.jp	 一般社団法人 データサイエンティスト協会
設立日	2013年5月15日	
目的	社会のビッグデータ化に伴い重要視されているデータサイエンティスト（分析人材）の育成のため、その技能（スキル）要件の定義・標準化を推進し、社会に対する普及啓蒙活動を行う。 分析技術認定（レベル認定）などの活動を通じて、分析能力の向上を図るための提言や協力を惜しまない支援機関として、高度人材の育成とデータ分析業界の健全な発展に貢献する。	
代表者	高橋 隆史	
所在地	東京都港区六本木1-4-5 16F WeWorkアークヒルズサウスタワー	
会員数	法人会員 約120社、一般会員 約20,000名	

協会活動の概要

“データサイエンティスト”の職業としての確立と地位の向上に向け、データサイエンティスト人材の定義、技能認定、勉強会など育成に関わる情報発信、マッチングなどを行っています。



協会参加企業

■参加企業（2024年度、130社、50音順）

幹事会員	賛助会員	賛助会員	賛助会員	賛助会員
金融エンジニアリング・グループ	IHI	川崎重工業	TIS	ふくおかフィナンシャルグループ
SAS Institute Japan	アイ・エス・ビー	キーウオーカー	デジタルグロースアカデミア	FLUX
電通	アイ・エフ・ディー	キカガク	TDSE	ブリヂストン
日産自動車	IGPI Digital Intelligence	キャノンマーケティングジャパン	データアナリティクスラボ	分析屋
日本アイ・ビー・エム	アイデミー	九州電力	Dataiku Japan	マクロセンド
野村総合研究所	アイネス総合研究所	Qsol	データビズラボ	三井住友海上あいおい生命保険
博報堂DYホールディングス	アガルート	京三製作所	DataRobot Japan	三井住友ファイナンス&リース
ブレインパッド	アスク	グロースデータ	テクノデータサイエンス	メンバーズ メンバーズデータアドベンチャーカンパニー
ブロードバンドタワー	アスクル	クロス・マーケティング	電通デジタル	横河ソリューションサービス
三井住友海上火災保険	あずさ監査法人	神戸デジタル・ラボ	電通マクロミルインサイト	ラック
ライオン	AKKODiSコンサルティング	ゴーガ解析コンサルティング	トランスコスモス	リクルート
LINEヤフー	アトラエ	コスモエネルギーホールディングス	TRAILBLAZER	Rejoui
	AVILEN	コニカミノルタ	ナビット	エッジテクノロジー
	アフラック生命保険	サントリーウエルネス	日経リサーチ	Rist
	アポロ	GRI	ニッセイ情報テクノロジー	りそなホールディングス
	伊藤忠テクノソリューションズ	シイエヌエス	日鉄ソリューションズ	リックテレコム
	Insight Edge	CTCテクノロジー	日本電気	WorkX
	インテージ	jeky Data-Driven Lab	日本システム技術	ワークスアイディ
	ウイン・コンサル	SIGNATE	日本ディスク	
	AIT	システナ	ネイチャーインサイト	大学・研究機関・自治体会員
	江崎グリコ	システム・ベールフ	NOB DATA	大阪成蹊大学
	NTTコミュニケーションズ	ジャパンテクニカルソフトウェア	ハイマックス	大妻女子大学
	エヌ・ティ・ティ・コムウェア	スキルアップNeXt	Hakuhodo DY ONE	京都女子大学
	NTTコム オンライン・マーケティング・ソリューション	セイコーエプソン	パタンナー	高知県立公立大学法人 高知工科大学
	エネコム	SOMPOホールディングス	パルコ	中央大学
	荏原製作所	第一生命ホールディングス	日立アカデミー	データアントレプレナーコンソーシアム
	オーグス総研	大同生命保険	日立システムズ	国立大学法人電気通信大学
	Orbitics	大日本印刷	日立社会情報サービス	東京大学エクステンション株式会社
	オリコム	大和総研	日立製作所	公立大学法人横浜市立大学
	カホエンタープライズ	中外製薬	ビデオリサーチ	立正大学

委員会活動：有志120名が議論し合い、様々なアウトプットを生む

2024年に学生委員会を正式発足。2025年には関西支部・中四国支部を立ち上げ、活動の幅を広げる

スキル定義委員会 ・データサイエンティストのスキル定義 ・スキルチェックやタスクリストの普及活動 活動 スキルチェックリスト更新(隔年) タスクリスト更新(隔年、w/IPA) 普及活動(概説書、Twitter等) Di-Lite支援、セミナー登壇など チーム	企画委員会 ・協会主催セミナー、講座等の企画運営 活動 シンポジウム、各種セミナー企画運営 DS養成講座(年2回)、DSアワード 課題解決型人材コンテスト(年1回) その他、広報支援等 チーム	調査研究委員会 ・データサイエンティスト職の実態調査や DS業界動向の研究および発表 活動 協会個人会員調査、学生調査の 企画運営、発表、取材対応 企業実態調査などの企画・実査 チーム	コミュニティ・ハブ委員会 ・協会内コミュニティ運営及び活性化 活動 マンスリーコミュニティ開催 コミュニティアイデア企画推進 チーム	
DS検定部 (スキル定義委員会の下部組織) ・DS検定の作問、運営、監査、PR ・公式リファレンス本の編纂 チーム	学生委員会 ・大学向け企業紹介セミナー開催 ・小中高向けDS体験セミナー支援 ・就活ガイド、企業人事との交流等 チーム	関西支部 ・データサイエンス、AI、DXの地産地消支援、産学連携推進 ・地域と東京間の人材連携、事例共有 チーム (大阪・京都中心)	中四国支部 (広島拠点)	九州支部 (福岡中心)